

## ネイティブペニシリウム・シトリヌムヌクレアーゼP1

Cat. No. NATE-0491

Lot. No. (See product label)

## はじめに

□明 ペニシリウム・シトリヌム由来のヌクレアーゼP1は、亜鉛依存性のエンドヌクレアーゼであ

り、低濃度の尿素の存在下で活性が□加します。

リコール4000を沈殿剤として使用して結晶構造を評価する研究に使用されました。また、5′または3′末端グループラベルRNAのテリニニから20-25ヌクレオチドの直接配列分析の方法を調□する研究にも使用されました。ヌクレアーゼP1は、DNA付加物の□出のための32P標識法の感度を向上させるために使用されます。この酵素の最適温度は約70°Cですが、長時間のインキュベーションには60°C未□の温度がより適しています。pH範□は5-8で安定しています。

*別名* エンドヌクレアーゼ P1; EC 3.1.30.1; 54576-84-0; ヌクレアーゼ P1; P1 ヌクレアーゼ

製品情報

*由来* ペニシリウム・シトリヌム

**形態** 凍結乾燥粉末

**EC**番号 EC 3.1.30.1

**CAS**登□番号 54576-84-0

*分子量* 42-50 kDa

**活性** > 200 ユニット/mg タンパク質 (E1%/280, 3′-5′-ホスホジエステラーゼ)

*単位定義* 3'-5'-ホスホジエステラーゼ: 1ユニットは、pH 5.3、37°CでRNAから1.0 μmoleの酸溶性ヌ

クレオチドを1分あたり放出します。3'-ヌクレオチダーゼ: 1ユニットは、pH 7.2、37°Cで

3'-AMPから $1.0 \mu$ moleのオルトリン酸を1分あたり加水分解します。

使用法とパッケージング

**包装** RNA基質を使用した> 250ユニットのバイアル

保管・発送情報

*保存方法* 2-8℃